



## 日本にサッカー文化を根付かせるために

### プロサッカー選手によるサッカーゴール寄贈

7月8日、サッカースペインリーグで活躍する丹羽大輝選手から町に、サッカーゴール4台が贈られました。

これは、日本にスポーツ、サッカー文化が根付く日常を目指して、同選手が日本全国にゴールを届ける「丹羽ゴールプロジェクト(NGP)」によるものです。本町においては、同じくスペインリーグで活躍中の橋本拳人選手、ロアッソ熊本の上村周平選手が賛同。贈られたゴールには、NGP マークと3人の名前が印字されています。

同日、空港保育園で開催されたサッカー教室には、ゴールを寄贈した3選手に加えて、元ロアッソ熊本の畑実さん、丹羽選手の長男も先生として参加。

「丹羽というのでニワトリ先生と呼んでください」など、親しみやすいニックネームで自己紹介した先生たちの指導の下、園児たちはシュート練習やミニゲームなどを通じて、元気いっぱいサッカーを体験しました。

最後に、丹羽選手は「たくさんボールを触って、ゴールを使ってください」と園児たちに話しました。

1 空港保育園で行われたサッカー教室の参加者の皆さん 2 ゴールの寄贈に伴い固い握手を交わす丹羽選手と西村町長 3 疲れを知らない園児たちにサッカーを教える先生もタジタジ 4 橋本選手からはサイン入りユニフォームもプレゼント 5 園児たちからのお礼の応援ダンスに合わせて先生たちもジャンプ!

## 犯罪や非行のない社会を目指して

### 第74回社会を明るくする運動メッセージ伝達式

町役場で7月9日、第74回社会を明るくする運動メッセージ伝達式が行われました。

この運動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの立ち直り支援への理解を深め、安全で安心な明るい地域社会を築くことを目的として全国的に行われているものです。7月の運動強調月間に当たり、上益城地区保護司会が郡内5町を巡回し、啓発活動を行いました。

同会の宗野勲御船分会長は、濱田副町長に内閣総理大臣・県知事のメッセージをしっかりと伝えました。



町役場を訪問した上益城地区保護司会の皆さん

Pickup Plus+  
今月のプラス



古閑老人クラブが、第35回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞し、7月5日、町役場を訪れ、町長にその報告をしました。

令和4年度の県表彰に続き、同クラブの継続的な緑化・環境美化活動が再び評価されました。福永幸也会長は、「みんなで協力して、一生懸命続けてきた結果です」と喜びを語りました。